



共生社会へ向かう、まちづくりについて

- 1- バリアフリー社会の実現に向けた整備と今後の計画について
- 2- 第6次エネルギー計画・省エネとエネルギー政策について
- 3- ゼロカーボンドライブにおける宮城県の取組について

(仮称) 大河原産業高等学校

一般質問しました!

1\_ バリアフリー社会の実現に向けた整備と今後の計画について\_ 福祉への配慮



福祉問題

▶Q01 一公共施設の整備について質問をしました。県庁舎や教育施設等のバリアフリー化について当事者による現地調査を含めた見直しをして必要な整備を行っているのか質問をしました。

▶A01 一今後ともより利便性が高まり、利用しやすいものとなるよう、障がいをお持ちの方の声なども伺いながら適切な整備や維持管理に努めると答弁がありました。

▶Q02 一現在建設が進んでいる(仮称)宮城県大河原産業高等学校は、ユニバーサルデザインの考えを取り入れた障がいをお持ちの方に使いやすい計画となっているのか質問しました。

▶A02 一多目的トイレを設置し、昇降口や玄関には緩やかなスロープを設置するなどユニバーサルデザインを取り入れた設計としているとの回答でした。完成後に視察に行き確かめて参ります。

▶Q03 一「誰もが住みやすいまちづくり条例」に基づく適合施設の認証が少ないのは何故か知事の見解を伺いました。

▶A03 一できるだけ多くの施設が基準に適合するよう設計段階から建築設計者に協力をお願いするとの回答でした。



県側の回答

Answer

2\_ 第6次エネルギー計画・省エネとエネルギー政策について\_ 環境への配慮



環境問題

▶Q01 一政府や国際社会の動きを受け、再生可能エネルギーの更なる導入に向けた野心的な目標設定が必要かつ急務であることではないかと知事の見解を伺いました。

▶A01 一計画見直しのための基礎調査を行い、今後の計画の見直しでより効果的な施策を積み上げ、更なる目標の引き上げについてしっかり検討するとの回答でした。

▶Q02 一太陽光パネルの設置普及を促進させるために、まずは公共建築へ率先して太陽光発電パネルの設置を行うように条例等による義務化を検討すべきではないかと質問をしました。

▶A02 一県や市町村でも率先して取り組む必要があるとの認識かつ、必要な情報提供や財政支援を行うと共に今後見直しを行う「地球温暖化対策実行計画」で県有施設等への太陽光発電設備の率先導入を積極的に取り組むとの回答でした。

▶Q03 一公共建築への省エネ化のために高性能サッシの整備や、警察関係施設へ積極的にきちんと省エネ対策を講じ緊急事態への対応力を高めるべきではないかと提案しました。

▶A03 一県立学校を含み、今後整備する公共施設に太陽光発電設備等の導入、省エネ対策実施について検討し緊急時の対応力向上にも努めるとの回答でした。

県側の回答

Answer

そこで一言!

形式的な努力発言にならないように、それを実行してもらい、裏面につづくどのような効果が発揮されるか確認していきます。

□□□□□▶